

## 平成 27 年度中学校教育専門部研修会

1. 期 日: 平成 27 年 10 月 16 日(金) 静岡県私学会館 5 階大会議室
2. 視察報告: 東京 International School、テンプル大学ジャパンキャンパス
3. 講 演: 坪谷 ニュウエル 郁子

『世界で生きるチカラ 国際バカロレアが子どもたちを強くする』

### 1. 部会長挨拶 (静岡学園中学校・高等学校校長 石田邦明)

Global 社会における人材の育成が今日の大きなテーマである。今日、今までの世界・地域の壁が取り払われ経済・外交のあり方が変わってきている。学校教育で今後どのようなことが成されるべきか考えた時、今までのような有名大学に何人合格者を出したのかということで評価されるようなことだけを我々私学が追求してよいのか。例えば東大理Ⅲに入った生徒が、日本で一番難しい学部に入ることを目標に頑張って合格しても入学後、本来の目標を見失ってしまっているという話を聞いたことがある。自分は何のために理Ⅲに入り、医者になりたいと思ったのか問われても分からない学生がいる。東大では、こうした学生を再教育しなければいけないと嘆いている。人材教育とは、ある目的を持った人材を育てることである。そしてそこでは価値観や人生観を育てることが行われなければならない。現在、Liberal arts が見直されているが、それは自分の価値観を作り、社会のために貢献しそれが自分の喜びとして感じられる人間を作るためである。そのためには自分で考えて行動することが出来る生徒を育成し、さまざまな国々の人々と共生出来る社会を作り上げていくことが大切である。自由・平等な社会を作り出す生徒を育成するために何が出来るかということのをこれからの視察発表と講演の中で考えていただければと思う。

### 2. 視察報告

(1) 東京 International school (不二聖心女子学院中学校 平山三穂)

#### ①目的

- ・ 大学入試改革における新学力観に対応した教育実践のヒントを学ぶ、Global な社会を生き抜くために必要な人材の育成方法を学ぶ、国際バカロレア(IB)教育の理解を深め、資格取得について学ぶことを目的に同校を視察先に設定。

#### ②沿革

- ・ 1994 年に Preschool を設立したのを皮切りに 97 年に初等部、2002 年に中等部を設置し、国際バカロレア機構から 2006 年に PYP を 2007 年に MYP の認証を受ける。
- ・ 2013 年に東京都南麻布に校舎を移転し、現在に至る。周りがマンションなどに囲まれており、敷地面積としては広いとは言えないが、大使館関係者の子供たちが多くを占め、School bus の運行もしている。
- ・ 生徒数は Elementary school 225 名、Middle school 75 名で 4 歳～8rd までの生徒が在籍。

#### ③国際バカロレア(IB)とは

- ・ 国際バカロレア(IB)機構とは、1968 年に Switzerland の Genève で設立された非営利団体で、幼稚園・小学校・中学校・高校教育課程で世界共通の学力をつけるための教育プログラムを提唱し、その認証校は世界 142 カ国 3,400 校ある。
- ・ 高校教育課程である DP の卒業検定資格は、Harvard、Oxford 大学で高い評価を受けており、大学 1 年次の単位を免除されたり、飛び級することも認められている。

- ・Global化に対応するため文科省は、外国語能力、問題解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力、社会課題に関する深い関心と教養を付けることを打ち出しているが、これに対応するためSGH(Super Global High School)認定校を増やすとともに2018年度までにIB認定校を200校にまで増やすことを目標に掲げている。
- ・Global人材育成のため教育機関の創意工夫や特色を活かした教育を推進することを掲げており、IBを教授出来る人材を育成することを目指している。

#### ④国際バカロレア(IB)の教育プログラム

##### PYP(Primary Years Program)

- ・日本の幼稚園・小学校 Level の Program。
- ・必要な知力、体力、精神力の Balance のとれた人間になることを目指す

##### MYP(Middle Years Program)

- ・中学校 Level の program で 5 年間かけ実施
- ・教科を学びながら実社会とのつながりを理解し、分析し、省察して考える人間になることを目指す。
- ・第一言語(母国語)、第二言語(外国語)、人文科学(歴史や地理等)、Science(生物、物理、化学など理科的科目)、Math(数学)、Art(芸術)、体育、IT を「5つのテーマ」を中核に据え、8教科を組み込んだ「教科融合型」の Curriculum に基づき授業を行う。

※「5つのテーマ」とは、学習の姿勢、人間の創造性、共同体と奉仕、多様な環境、健康と社会教育で教科の上位概念として設定されている。

##### DP(Diploma Program)

- ・16歳～19歳までの2年間で実施する Program
- ・大学受験やその先の人生を見据え、強みや個性を明確にして、自らが進む道を見極められる人間になることを目指す

#### ⑤東京 International school

- ・東京 International School では PYP と MYP を実施。
- ・探究型 Program による横断的学びを特徴とし、下記の方法で行われる
  - 1.教師が生徒に対して学ぶべき核(コア)となる考えを提示
  - 2.核(コア)に対して、生徒は知っている知識を共有
  - 3.生徒が学びたいトピックを提示
  - 4.各種教材・Internet・Interview を通じての Research
  - 5.Presentation による発表と生徒間での知識の共有
  - 6.自分自身の学習の振り返り
- ・教師は Facilitator であり、生徒が興味を持てるように授業をデザインし、気付きを与えるために Hint を提供し、様々な角度から質問を投げ掛け、理解を深めるための Discussion も行い、生徒が学び続けるための最適な環境作りをすることが求められる。
- ・一ヶ月毎または2週間ごとに教員同士が生徒が興味を持てる授業を組み立てるために話し合う。

#### ⑥Coordinator

- ・教科間の Collaboration は教員同士の話し合い・提案から生まれ、Coordinator がこれを調整する。
- ・Coordinator は、教員間のつなぎ役であり、unit。教員の評価はせず、教員の Capacity を広げることに努める。
- ・教員が教科指導に専念出来る環境にあり、日本の一般的学校とは教員の待遇が異なる。

#### ⑦まとめ

- ・Coordinator の役割を果たす人材が私学においてもこれからは必要ではないか。
- ・探究型 Program は大学入試改革とこれに伴う新学力観に見合った学力をつけるには参考になるものではないか。

### (2) テンプル大学ジャパンキャンパス(星陵中学校 能勢 和幸)

#### ①目的

- ・大学入試改革における新学力観に対応した教育実践のヒントを学ぶ。
- ・21 世紀という Global 社会を生き抜くために必要な人材の育成方法を学ぶ。
- ・外国大学の AO 入試に学ぶ。

#### ②沿革

- ・1884 年に米国の Philadelphia で設立された 130 年の歴史を持つ州立大学で全米大学ランキング 28 位(約 4,400 校中)、学生数 37,000 人の総合研究大学。
- ・Campus は世界に 3 つあり、Philadelphia を本部として日本のほか、Roma にもある。
- ・日本で入学、卒業が出来る唯一の「アメリカの総合大学」。
- ・少人数制の「参加型」教育で、創造的・分析的思考力・Communication 技術を育てる Liberal arts に根ざした大学。

#### ③入試

- ・アメリカの大学は、9 月の秋入学と 1 月の春入学がある。
- ・入試方法は、下記の通り。

##### Early Decision

合格すると必ず入学する責任を負う。11 月に出願、12 月に結果発表。

##### Early Action

合格しても入学する責任を負わない。11 月に出願、1~2 月に結果発表。

##### 一般入試

最終学年の 1 学期終了後に出願し、3 月に結果発表

##### Rolling Admission

通年で願書を提出出来、通常 4~6 週間に結果発表。

#### ④出願書類

- ・出願書類は入学願書、標準テスト(SAT、ACT、TOEFL 等)、出願 Essay、成績証明書、卒業証明書、推薦状など。
- ・出願方法は、Common Application と呼ばれる複数の大学で利用出来る共通の出願システム(On-line 願書)を利用する方法と College's Application と呼ばれる各大学の Website から On-line 出願または郵送す

る方法がある。

- ・ Common Application は、全米の約 490 校で採用されている。
- ・ 日本でも 2016 年入試から四国の 5 国立大学で Common application 方式を採用。
- ・ 審査項目は、学業成績、標準テストの点数、Essay の内容、Advanced Placement Test、International Baccalauréat(国際バカロレア)、教員からの推薦、面接、課外活動経験、On-line ID(Face Book, Twitter 等)。

#### ⑤ 高大接続改革

- ・ 人口減少、少子高齢化、Global 化といった時代背景の変化に対応するため中央教育審議会は自ら課題を設定し、周囲と共働して解決に取り組む力を初等中等教育から高等教育まで一体的に育成することを提言としてまとめている。
- ・ 2015 年に入学した中学 1 年生が 2020 年の大学入試を迎えた時に新しい大学入試がスタートするが、中高一貫校では、「入試改革への学校の対応は大丈夫か?」という問い合わせが急増している。
- ・ 新しい大学入試選抜に関する Key Word
  1. 「活用する力」→学力評価の新しい共通 Test
  2. 大学のグローバル化が加速→4 技能外部検定試験の導入
  3. アドミッションポリシーに基づく選抜→多面的総合的評価を重視した入試の拡大
- ・ 新テストは、基礎学力テスト(仮称)と大学入学希望者学力評価テストに分かれ、学力面では英検、TOEFL 等民間検定が評価の対象となり、学部一般入試に活用される。
- ・ 日々の活動を通じた幅広い資源・能力の多面的な評価をするため部活動や生徒会活動のほか、ボランティア活動や留学、就業体験、各種大会での表彰が評価の対象に含まれる。
- ・ 生徒が中心となった問題解決型学習(Active Learning や協働学習・Project 学習)等を導入し「思考力・判断力・表現力」の育成を目指す新学力観が打ち出されたことで、予習・授業準備等自宅学習の習慣を定着させることと充実化が求められてくることから Adoptive Learning(個人に最適化した学習。On-line 学習等)の重要度が拡大。

#### ⑥ まとめ

- ・ 高大接続に伴う大学入試改革は、米国型の生徒を多面的に評価する Admission office 入試に近いものとなるのではないかと。

### (3) 講演 『世界で生きるチカラ 国際バカロレアが子どもたちを強くする』

講師 坪谷 ニュウエル 郁子

〈略歴〉

国際バカロレア機構アジア太平洋地区委員、東京インターナショナルスクール理事長

NPOインターナショナルセカンダリースクール理事長、グローバル人材研究所代表

一般財団法人 世界で生きる教育推進支援財団理事、UWC日本協会理事、

札幌開成高等学校SGH運営指導委員会委員

文部科学省とともに、国際バカロレアの普及に取り組む。教育再生実行会議有識者。

#### 1. 学校設立までの沿革

- ・1985年12月東京都港区「願海寺」境内で「English studio」を開校したのを皮切りに JIEC(「日本国際教育センター」)の設立を経て東京 International School の開校に至る。
- ・現在は、NPO International Secondary School を設立し、学習障害やいじめ等で International school で肩たたきにあった生徒を対象に教育の場を広げている。
- ・Global 人材研究所では、英語で学ぶ After School と称して学童保育と幼稚園事業を住友商事株式会社と連携して展開し英語のみならず、自ら考える力や自信、自己表現力といった「Global skill」を身に付ける教育に力を入れている。

## 2.国際バカロレアとは

- ・3歳～19歳までの生徒を対象とした Program で Global 社会を行く抜く上で学び働き続けるために必要な知性、人格、情緒、社会的 Skill を身に付けることを目的としたもの。
- ・現在世界 146 カ国、4000 の学校で導入され、1,164,000 人以上が学んでいる。

## 3.国際バカロレアの理念(The IB mission)

- ・多様な文化の理解と尊重の精神を通じ、より良い、より平和的な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とする。
- ・上記の目的のため学校や政府、国際機関と協力しながら国際教育 Program と厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいる。
- ・人が持つ違いを違いとして理解し、自分と異なる人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることが出来る人として、積極的に、共感する心を持ち生涯にわたり学び続けることが出来るように働きかける Program である。

## 4.国際バカロレアの学習者像(The IB Learner Profile)

Inquirers(探究する人)、Knowledgeable(知識のある人)、Thinkers(考える人)

Communicators(コミュニケーションが出来る人)、Principled(信念を持つ人)、

Open-minded(心を開く人)、Caring(思いやりのある人)、Risk-takers(挑戦する人)

Balanced(バランスのとれた人)、Reflective(振り返りが出来る人)

## 5. 国際バカロレアのプログラム(IB Program)

Program	設立時期	対象年齢	世界 (2015.8)	日本 (2015.8)
初等教育 Program(PYP)	1997	3歳～12歳	1,304校	19校
中等教育 Program(MYP)	1994	11歳～16歳	1,199校	9校
Diploma Program	1968	16歳～19歳	2,893校	26校
※Career Program(BCP)	2012	16歳～19歳	68校	—

※Career Program は主に就職や専門学校を目指す生徒のため社会に出て役立つ Skill の習得を目指す Program。

◎Career Program は、米国の Chicago などの貧困地区でビルゲイツ財団の援助のもと導入された。2014年に初めての卒業生を出したが、70%が大学に進学した。

## 6. 国際バカロレア導入校の増加数/率

Program	2009年10月	2015年8月	増加率
初等教育 Program(PYP)	522	1,304	249.81%
中等教育 Program(MYP)	613	1,199	195.60%
Diploma Program	1,821	2,893	158.87%
合計	2,956	5,396	182.54%

※複数の Program を導入している学校があるため、合計数は全体の学校数と一致しない。

## 7. 各国の国際バカロレア(IB)導入校数

2015年9月現在

国名	PYP	MYP	DP	Total
米国	489	597	876	1,689
カナダ	78	168	163	358
エクアドル	8	8	236	236
オーストラリア	103	43	61	162
英国	15	13	138	147
インド	57	14	107	122
メキシコ	56	35	66	108
中国	37	26	82	99
スペイン	10	11	84	87
ドイツ	24	11	65	70
日本	19	9	26	35

## 8. 中南米での動き

- ・エクアドルでは、4年間で認定校が500校に。
- ・メキシコは、104の認定校を設置し、公立学校での更なる導入について現在IBと中央政府が協議中。
- ・コロンビアでは、二つの都市の市長と協議中。
- ・ペルーでは、7つの公立校で導入決定。

## 9. ヨーロッパ、中東、アフリカ地区での動き

- ・MYPはスペイン、トルコ、ドイツで増加している。
- ・IBCC(2012年開発)は、英国とUAE(ドバイ)で8校導入→中東ではIB教員を金で買い、リクルート増加
- ・2013年に15000人の教員のTrainingを実施した。
- ・イラク北部で初の認定校が生まれた。
- ・アフリカでは、アフリカ大学連盟(約300校)とIBの間でDP及びIBCCを入学審査で積極的に活用する合意を締結した。
- ・ロシアでは、モスクワ市長がIB認定校(公立)に財政支援を発表している。

◎IB 教員の移動は国際的で、有利な就業条件さえ整えば一家転住という形で普通に行われている。現在は、中東、中国での教員需要が高く、優秀な教員の引き抜きが行われている。

#### 10. アジア太平洋地区

- ・インドでは、2013 年 4 月、100 校を突破している。
- ・マレーシアでは、2013 年 5 月に導入に合意書を締結し 10 州で 10 の MPY 認定校、800 人の教職員の Training を実施
- ・中国では、上海を中心に 2011 年、エリート公立校、IB 申請、IB と National Curriculum(PYP)を統合する検討委員会を設置。
- ・韓国
- ・台湾は反応なし。
- ・ベトナムは、ハノイとホーチミンで Model 校を設置し、2014 年 1 月にベトナム文科省と IB で合同説明会を実施している。
- ・日本では、2018 年までに IB 認定校を 200 校に増やすことを計画している。

#### 11. 国際バカロレア導入についての国内での動き

- ・国際バカロレア日本アドバイザー委員会を設置し、推進を後押ししている。
- ・産業界(日本経済団体連合会)から平成 25 年 6 月に出された『-グローバル人材の育成に向けたフォローアップ提言- 「世界を舞台に活躍できる人づくりのために」』の中で「IB ディプロマ課程は、グローバル人材を育成する上で有効な手段の一つ」であり、「大学入試における活用や、企業も採用時や人材活用において適切に評価」するよう提言がなされている。
- ・教育再生実行委員会は平成 25 年 5 月に「国際バカロレア認定校について、一部日本語によるディプロマ・プログラムの開発・導入を進め、大幅な増加(16 校→200 校)を図る。」と提言(第 3 次提言)している。
- ・安倍総理は、「日本再興戦略-JAPAN is BACK」の一つとして平成 25 年 6 月の閣議決定で「一部日本語による国際バカロレアの教育プログラムの開発・導入等を通じ、国際バカロレア認定校等の大幅な増加を目指す(2018 年までに 200 校)」を決定している。
- ・平成 25 年 4 月の教育再生実行会議は平成 25 年 4 月に「大学は、入学者選抜において国際バカロレア資格及びその成績の積極的な活用を図る。国は、そのために必要な支援を行うとともに、各大学の判断による活用を推進する。」と提言している(第 4 次提言)。

## 12. DP(Diploma Program)の Curriculum ①

6つのグループで構成: 各グループから1科目ずつ選択し、計6科目を2年間で履修。  
(但し、グループ6は他のグループからの科目に代えることも可能)

グループ名	科目別
1.言語と文学(母国語)	言語 A: 文学、言語 A: 言語と文学、文学と演劇
2. 言語習得(外国語)	言語 B(標準 Level 及び上級 Level)、初級語学、古典語学
3. 個人と社会	ビジネス、 <b>経済</b> 、 <b>地理</b> 、グローバル政治、 <b>歴史</b> 、心理学、環境システム社会、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教
4. 実験と科学	<b>生物</b> 、 <b>化学</b> 、 <b>物理</b> 、デザインテクノロジー、環境システムと社会、Computer 科学、スポーツ・運動・健康科学
5. 数学と Computer 科学	<b>数学 studies</b> 、(標準 Level)、 <b>数学(標準 Level)</b> 、 <b>数学(上級 Level)</b> 、 <b>数学(最上級 Level)</b>
6. 芸術	<b>音楽</b> 、 <b>美術</b> 、演劇、ダンス、フィルム、文学と演劇

※赤字は、日本語 DP 対象科目。

## 13. DP(Diploma Program)の Curriculum ②

6科目に加えて、以下の3つの Curriculum も履修。

Curriculum	概要
1.課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる(日本語の場合は8,000字)
2.Theory of Knowledge (TKO)(知識の理論)	学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、理性的な考え方を客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し、国際理解を深めて偏見や偏狭な考え方を正し、論理的思考力を育成する。最低100時間の学習。
3.Creativity,Action, Service(CAS)(創造性・行動・奉仕)	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。最低150時間の学習。

## 14. DP の評価方法

・学校における内部評価と、外部評価員(世界で5,000人以上)による外部評価で構成

### (1) 内部評価

- ・各科目の評価の20~30%
- ・評価の対象になる要素は科目によって異なる。

(例: 1グループ科目 口述テスト、4グループ科目、実験 Report)

・内部評価の結果を外部評価員に提出する Modulator の制度で評価の客観性、厳格性を確保

### (2) 外部評価

- ・各科目の評価の約70~80%
- ・世界で一斉に5月(北半球)と11月(南半球)で統一試験(国際バカロレア試験)を実施
- ・日本の一条校の場合は、11月を予定。



・採点は外部評価員が実施

12. 学習指導要領との整合性

- ・国際バカロレアと学習指導要領の双方を無理なく履修出来るようにする特別措置が8月19日付で公布・施行されている。
- ・上記の特別措置の施行により課題であった国際バカロレアの授業の認定単位が拡大し、英語による指導が可能になった。

13. 米国大学における国際バカロレア資格を利用した入学者選抜の例

- ・Boston 大学では、出願条件として Advancement(AP)と合わせ国際バカロレア(IB)を含む大学進学予備 Program の習得も要件とされており、その成績が最も重視され、可否判定についても IB をどの程度受けているかという履修科目選択の積極さをより重要視している。

14. 米国の大学における IB score の活用例(単位認定等)

①Harvard 大学

- ・上級 Level 科目の Score が 7(満点)の場合、一部科目の履修免除(単位認定)
- ・上級 Level 科目の score が 3 つある場合、速習プログラムへの参加資格が与えられる。

②Columbia 大学

- ・上級 Level 科目の Score が 6 または 7 の場合、各科目につき 6 単位(最大 16 単位)与えられる(学科で認められている場合)

③UCLA

- ・上級 Level 科目の Score が 5 の場合、殆どの IB 資格取得者に単位が与えられる(専門分野により異なる)

15. 国際バカロレアを活用した大学入試(平成 27 年 6 月現在)

全学部導入	一部学部導入	導入予定・検討中	検討中(時期未定)
筑波大学	東京外国語大学	北海道大学(平成 30 年度)	東京医科歯科大学
岡山大学	横浜市立大学	東京大学(平成 28 年度)	東京工業大学
国際教養大学	慶応義塾大学	京都大学(平成 28 年度)	名古屋大学
立命館アジア太平洋大学	順天堂大学	広島大学(平成 28 年度)	千葉大学
玉川大学	立教大学	九州大学(平成 29 年度)	長岡技術科学大学
関西学院大学	国際基督教大学	東京芸術大学(平成 28 年度目処)	豊橋技術科学大学
	早稲田大学	金沢大学(平成 30 年度以降)	熊本大学
	大阪大学	京都工芸繊維大学(平成 29 年度以降)	会津大学
	上智大学	東洋大学(平成 28 年度)	芝浦工業大学
		法政大学(平成 28 年度)	明治大学
		創価大学(平成 28 年度)	お茶の水女子大学
		立命館大学(平成 27 年度以降)	
		東北大学(平成 29 年度)	
		大阪市立大学(平成 28 年度)	

※大阪大学は平成 29 年度、上智大学は平成 28 年度より全学部で導入予定。(出典: 文部化学省 HP)

## 16. 国立大学の将来 Vision に関する Action・Plan

- ・国立大学協会は、推薦入試や AO(Admission Office)入試、国際バカロレア(IB)入試などについて、入学定員の 30%を目標に 2018 年までに拡大することを改革 Plan に盛り込んだ。

## 17.国際バカロレア教員になるには

- ・どこの国であっても教員資格があり、国際バカロレア・プログラムの Work shop を受講すれば教授可能。
- ・IB の Work shop は 3 日間で 8,5000 円かかるが、2018 年まで日本中で無料のワークショップを実施する計画がある。また筑波大学を含む国内の 18 の大学で IB 教員の育成のためのコースが設定される準備が進んでいる。

## 質疑・応答

### 〈質問〉

日本の学校では教員が事務仕事から部活指導まであらゆる仕事をこなせばならず、教員はくたくたになりなり疲弊しながらも授業準備をし、授業に臨んでいるという現状があるが、海外の学校の現状は、どうなのか。

### 〈応答〉

海外の学校、特に欧米では教員は教えることに専念する。事務仕事は事務職が、運動系のスポーツなどは地域社会で教える人たちが担当している。また同じ種目をずっと続けるのではなく、スポーツ強化選手を除けば、1 年間で 3 期に分けそれぞれ異なるスポーツを体験することが一般的である。

〈記録 副部会長 山本岳弘〉